

2023年度 須坂市公民館運営審議会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 2023年10月2日(月)午後1時30分～2時30分
- 2 開催場所 須坂市生涯学習センター（3階）
- 3 出席委員 上野委員、竹前委員、花房委員、富沢委員、堀内委員、永藤委員、山崎委員、星委員、荻原委員、竹前委員、垂澤委員、武田委員、山岸委員
- 4 欠席委員 小林委員、松原委員、松澤委員、荒井委員
- 5 事務局 小林教育長、滝澤社会共創部長、寺澤生涯学習推進課長、小林中央地域公民館長、滝澤南部地域公民館長、田尻日滝地域公民館長、滝澤豊洲地域公民館長、平林旭ヶ丘ふれあいプラザ館長、角田井上地域公民館長、飯塚高甫地域公民館、上原仁礼コミュニティセンター館長、小山豊丘地域公民館長、杉山学習推進係長、北澤管理係長（欠席：山岸日野地域公民館長）
- 6 会議状況 各事項について事務局説明後、質疑（◇は委員の発言、◆は事務局の発言）
  - (1) 会長の選出について  
互選により、堀内委員に決定
  - (2) 会長職務代理者の指名について  
会長の指名により、竹前委員に決定
  - (3) 施設予約システム及びスマートロックの導入について  
意見なし
  - (4) 南部地域公民館「須坂市民ギャラリー臥竜公園」を臥竜山の一部にすることについて  
◇臥竜山公会堂の一部に編入することには賛成。  
◇事務局の説明の中で稼働率が低いとの話があったが、現状の利用状況はどうなのか。  
◆大広間は、コロナ禍前は、花見、歓送迎会の時期、高校の吹奏楽部の利用、かるた大会の開催等、限られた期間、団体の利用にとどまっていた。  
◆昨年度の大広間の利用実績は年間17件。「須坂市民ギャラリー臥竜公園」の昨年の実績は0件。2018年度は5件。  
◇今後、改修等に費用を投じた後に、どのくらい利用件数を上げたいと考えているか。  
◆2018年度比1.2倍の利用増加を目指す目標で須坂市の各施設は取り組んでいる。コロナ禍により活動をやめてしまった団体なども多く、あくまでも努力目標として利用を増やしてまいりたいと考えている。  
◆須坂市には総合美術館がなく、市民レベルで利用できるギャラリーが欲しいとの要望も

あり探していたところである。「須坂市民ギャラリー臥竜公園」を市民が自由に利用できる施設として活用することで個人レベルでも利用できるような美術館ギャラリーにしていき、年間利用率の高い市民ギャラリーにしていきたい。

◇改正案には賛成する。

◇今後の要望として、展示物が飾れるギャラリーが、須坂市内のどこにどのような規模のものがあるのかを周知し、稼働率を上げていただきたい。生涯学習の発表の場を得ることを望んでいる方も多いと思うので、多くのツールを使って周知してほしい。

◆12月の改正に向けて、『広報須坂』や市ホームページ等を利用して市民に向けPRしていきたい。

(5) 公民館だよりの廃止について(報告)

意見なし

(6) 2023年度事業実施状況について(報告)

意見なし

(7) その他

◇中山晋平の映画の撮影が市内で行われていた。須坂市にもゆかりのある人物なので、撮影等で協力できることがあれば声をかけてほしい。